

3Dプリンターサービスのマーケット

株式会社 JMC

代表取締役 CEO 渡邊 大知



JMCは3Dプリンター受託加工業

自己紹介・会社概要

社名	株式会社 JMC
設立	1994年12月18日 (現在:第24期)
資本金・資本準備	263,000,000円 250,000,000円
株主構成	役員・ベンチャーキャピタル5社
所在地	本社:横浜市港北区新横浜(3Dプリンター・光造形) テクニカルセンター:横浜市都筑区(3Dプリンター・粉末焼結) コンセプトセンター:長野県飯田市(鋳造・機械加工) 神戸オペレーションセンター:神戸市中央区
事業内容	3Dプリンター出力事業、アルミ・マグネシウム鋳造品製造
従業員数と平均年齢	47名・31歳 男性39名 女性8名

氏名 渡邊 大知

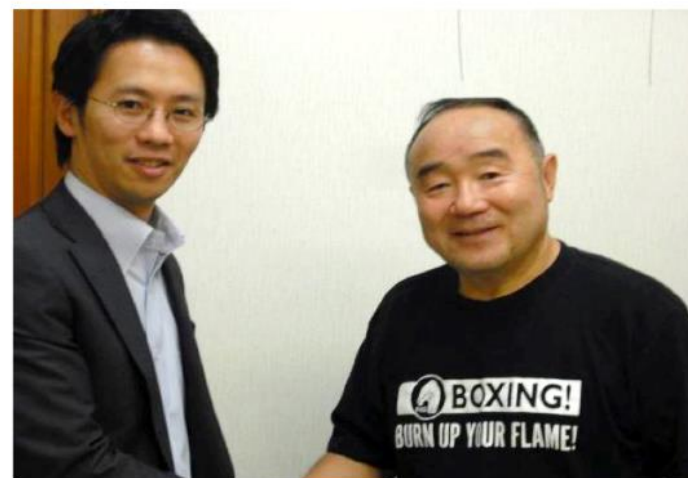
1974年 山梨県生まれ 現在40歳

1992年 甲府第一高等学校卒業

1993年 プロデビュー

1999年 引退・JMC入社

2004年 代表取締役就任



3Dプリンターブームによるメディア露出の増加



2014年 「新ものづくり研究会」の委員に選出

2014年 総理官邸「経済の好循環懇親会」へ出席



2014.11.19 ■

株式会社JMC、新エネルギー・産業技術総合開発機構の『iPS 細胞等を用いた立体組織・臓器の開発』プロジェクトに参画

～独自の3D プリンター関連技術による革新的な技術開発への貢献～

最先端の3Dプリンター事業を展開している株式会社JMC(本社:神奈川県横浜市港北区新横浜、URL:
<http://www.jmc-rp.co.jp/>、代表取締役:渡邊大知)は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が推進するPS 細胞などを用いた立体組織・臓器開発プロジェクトにテーマ実施者として参画します。

本プロジェクトでは医療分野で高いニーズを持つ移植用生体組織・臓器の製造を実現するため、iPS 細胞などの再生医療に用いられる細胞と3D プリンター・細胞シート積層技術などを組み合わせることで、新しい製造技術を開発します。JMCは他のテーマ実施者と共同し、独自に有する3Dプリンター関連技術によって革新的な技術開発の一翼を担います。



3Dプリンター出力事業・光造形

保有設備： 光造形機 9台 (CMET社製)

インクジェット造形機 Agilista 1台 (KEYENCE社製)

粉末固着造形機 Zprinter 2台 (3Dsystems社製)



3Dプリンター出力事業・粉末焼結

保有設備： ナイロン粉末焼結造形機 4台 (3DSYSTEMS社製)

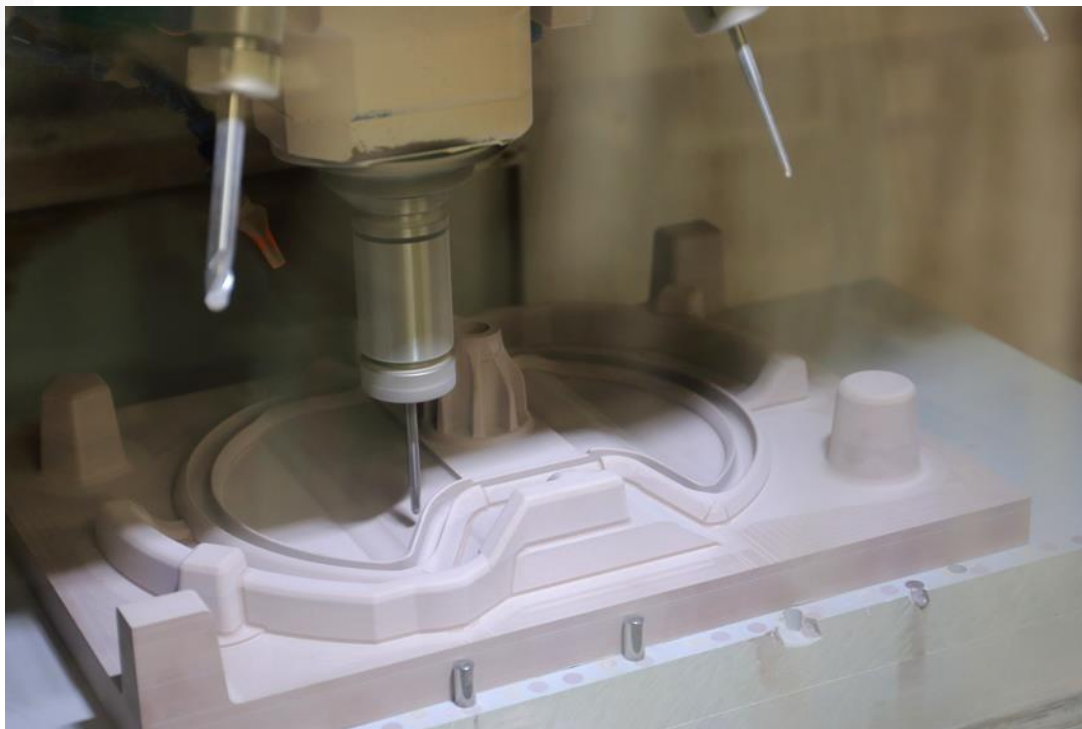
アルミ・マグネシウム鋳造事業



除去加工



- 切削
- 放電
- エッチング



変形加工



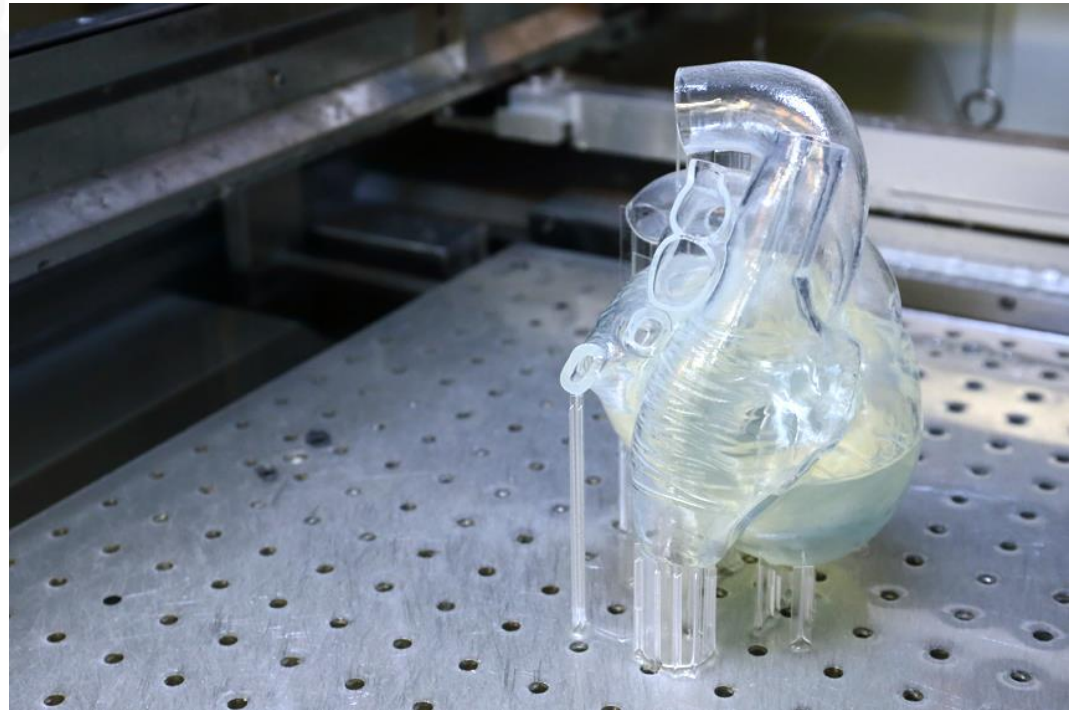
- 射出成型
- 鑄造
- 鍛造



付着加工



- 接着
- 溶接
- 3Dプリンター
(付加製造)



除去加工



- 切削
- 放電
- エッチング

変形加工

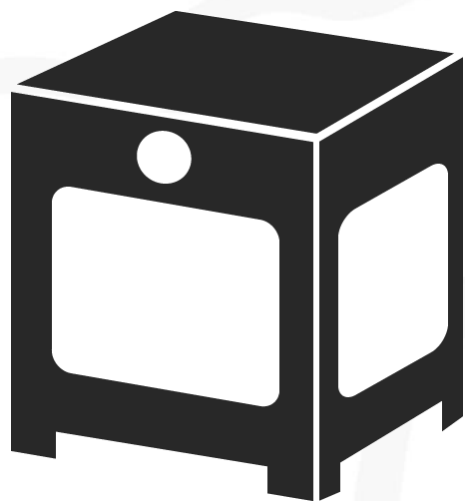


- 射出成型
- 鋳造
- 鍛造

付着加工



- 接着
- 溶接
- 3Dプリンター
(付加製造)



3Dプリンター



医療モデル



鋳造

「3Dプリンター」という言葉

付加製造装置・3Dプリンターによる経済波及効果試算

①付加製造装置・3Dプリンターなどの直接市場

- ・製造装置など
- ・材料、関連機材ほか

1兆円

②3Dプリンターなどの関連市場

- ・出力サービス
- ・部品などの直接造形
- ・交換用部品の製造

10.7兆円

③生産性の革新によるコスト削減

- ・試作、開発プロセス
- ・製造プロセス

10.1兆円

「3Dプリンター」の魅力

市場を限定しない間口の広さ



医療モデル受託製作JMC MEDICAL



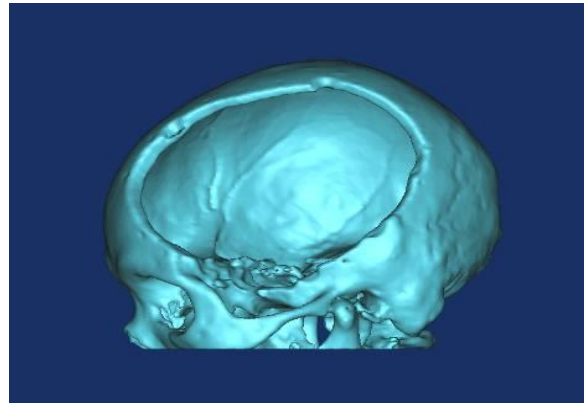
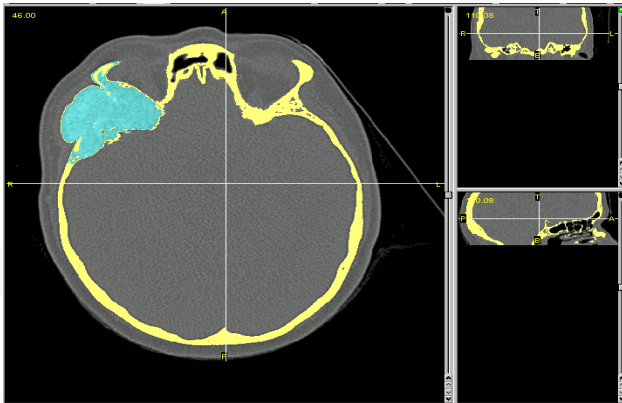


光造形方式・エンジンブロックモデル



頭蓋インプラント補助治具

CT画像受領後、36時間以内の納品をコミット



カテーテルシミュレーションキット



展示会模型



創意工夫ができる市場



まとめ